



PR Daily 2016 Social Impact Design 特別賞を受賞

文京学院大学は、2016年3月に外国人を対象とし、インフォグラフィックスで表現した「地震 防災マニュアル(文京区版)」を作成しました。

その「地震 防災マニュアル(文京区版)」が世界的な広報メディアである「PR Daily」が主催する PR アワードにて2016年度ソーシャルインパクトデザイン部門で「特別賞」を受賞しました。

外国人向け「地震 防災マニュアル(文京区版)」について

本学が2016年3月に制作・配布した「地震 防災マニュアル(文京区版)」は、外国人が地震発生時に適切な対応ができるよう「初動」に内容を絞り、内容が瞬時に理解できるよう「インフォグラフィック」を用いた点が特長です。英語版と中国語版の2種類を制作し、無料配布を行っているほか、WEB上にて、スマートフォンに対応した縦型の英語版・中国語版・日本語版を制作・公開しています。

▼「地震 防災マニュアル(文京区版)」ダウンロードはこちら

<http://www.u-bunkyo.ac.jp/faculty/business/2016/03/post-27.html>



表裏両面を使い、表面には災害対応情報などの情報を記載し、非常食の新たな備蓄法「ローリングストック法」についてや、文京区の地図を記載しています。また、裏面は地震発生からの5分間を、どう対応するかについて「(1) 身を守る」「(2) 避難の準備」「(3) 情報収集」「(4) 避難の判断」の4つのステップで説明しています。

本学は、「インフォグラフィック」をカリキュラムに取り入れた経営学部経営コミュニケーション学科をはじめ、大学の研究成果や人的資源を活用しながら、「地域に根ざし、社会に開かれた大学」の更なる実現を目指して、地域社会が直面する課題解決に向けた取り組みをさまざまな分野で推進しています。

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。